

# 大軍拡・大增税よりも 医療・介護の拡充を

## 介護保険制度の改善を訴える!



地域と福岡医療団をつなぐ



# 健康

2023 3 vol.102

福岡医療団  
発行責任者 舟越光彦  
福岡市博多区千代5-18-1  
TEL 092-651-1522  
Mail fk-tomo@fid.jp



フルPPE(個人用防護具)で利用者さんと接するスタッフ(特別養護老人ホームいきいき八田)

介護保険制度の現状と問題点を知るため、福岡医療団ネットワークの川添大介氏(ちのど福祉会 特別養護老人ホームいきいき八田 施設長)にインタビューをおこないました。

介護保険制度はもともと23年が経過し、幾度も見直しが行われてきましたが、そのほとんどが「改善」の歴史です。この間、介護保険制度や介護報酬改悪の荒波に抗い、事業の廃止や拡大を経験しながら運営・経営してきました。しかし、政府は27年度までの軍事費を5年間の総額を43兆円とし、現在の2倍にするとしています。その財源は社会保障の更なる削減と国民の税金で補うつもりです。これ以上の負担増は、施設運営や利

用者さまへのサービス低下で介護崩壊が起りかねません。今年2023年10月には特別養護老人ホームいきいき八田が20周年を迎えます。歴代の施設長のもと職員教育を重視し、法人の理念や民医連綱領、民医連の「介護・福祉の理念」に立ち返りながら、尊厳や人権に配慮したケア、看取り介護など質の高い介護をめざし奮闘しています。

一定以上所得のある利用者の利用料負担割合(1割→2割・3割)の拡大、特別養護老人ホームなどの施設の食費・居住費の保険外し、要支援1・2の生活援助等を市町村事業へ移行、特別養護老人ホームへの入所は原則要介護3以上など、いずれも、制度の持続可能性のお題目のもと、政府が利用者やその家族、介護サービス事業者に負担を押し付けてきました。

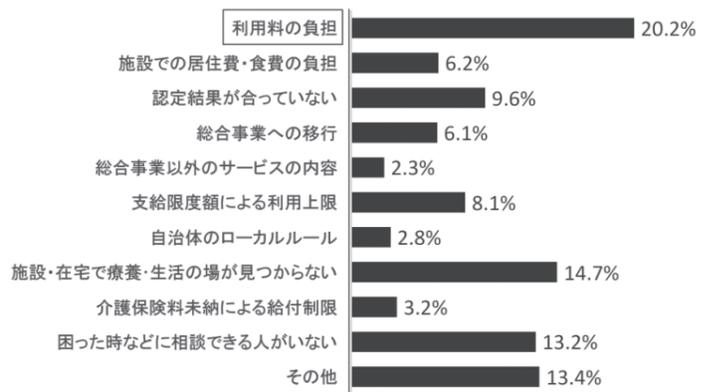
昨年12月、厚生労働省の介護保険部会が2024年度の介護保険制度改定に向けた見直しの「意見」をまとめた。要介護1・2の生活援助等の市町村事業への移行、ケアマネジメントへの利用者負担導入などは反対の声に押され今回は見送られますが、利用料の2割負担対象者の拡大や中高所得者の介護保険料引き上げは今年の夏までに結論付けられることとなりました。全日本民医連が昨年11月に実施した「介護保険見直しに向けた緊急影響調査結果」によると、施設入所者調査では「現在の利用料が2倍(2割)になったら施設を退所する、もしくは退所を検討する」と回答した人が13%にのぼりました。入所者の家族からは「本人の年金と家族の援助で入所しているが、2倍になったら退所を検討するしかない。そうなるのが生活が苦しくなり、どうすることもできません」といった深刻な声も寄せられています。

3年が経過したコロナ禍も収束の目途が立ちません。いきいき八田もクラスターを経験し、利用者様や職員が大変な影響を受けました。政府の対策が不十分な中、感染症法上の位置付けを変え様々なコロナ施策を縮小すると言われています。未曾有の感染症まで「自己責任」にされることに違和感と怒りを覚えます。4月の統一地方選挙に向け、コロナ対策や社会保障の改善、憲法改悪に反対し、戦争をさせない活動を続けていきたいと思えます。

住費の保険外し、要支援1・2の生活援助等を市町村事業へ移行、特別養護老人ホームへの入所は原則要介護3以上など、いずれも、制度の持続可能性のお題目のもと、政府が利用者やその家族、介護サービス事業者に負担を押し付けてきました。

### 制度の仕組みが作りだしている利用困難(2019年・民医連調査)

【問】「どのような制度上の理由でサービス利用の困難が生じていますか」(複数回答)



※全日本民医連「2019年介護事例調査」(578事例)より

### 【ふくおか健康友の会】

(2023年1月末現在)

組織現勢	71,241人
寄附金	5,782,591円 (2022年度分実績)
協同基金応募	114,385,000円 (2022年度分実績)

\*たくさんのご応募ありがとうございます。今後も健康増進活動を拡げて参ります。

### 事例紹介

(全日本民医連介護事例調査より)

#### 《83歳・女性》

認知症の進行がみられ、糖尿病があり、病態への意識が薄く、インスリンの管理が出来ず、家族やデイサービスでの支援が必要となっている。利用料が引き上げになると金銭的な増額負担はできないから、利用を控えるしかないと話されている。家に居ても身体を動かすことがほとんどなく、デイサービスの中で促すことで運動が出来ており、日常的に家事に加えて運動させることまで家族では難しいと考えておられる。介護保険料を払って更に2割負担という、単純に支払いが2倍になるなんてありえないと憤りをもって政府に訴えたい!

#### 《70歳・男性》

毎月の利用料を決めてサービス調整をしているため、利用料の引き上げによって支援回数を減らすことが予測される。支援を減らすことで、身体を動かす機会が減り、転倒リスクが高くなる。廃用の進行、身体の動きも鈍くなり、家族の介護負担が増える。本人も思うように身体が動かないことでイライラが増える、家族にあたるなど、本人・家族のストレスが増大。穏やかに生活することも難しくなってしまう。

# コロナ後遺症について

北海道民医連 勤医協札幌病院 院長 尾形 和泰



尾形和泰院長

今後、「コロナ後遺症」が心配されます。全日本民医連に加盟しており、先進的な医療活動を進めている尾形和泰医師に寄稿して頂きました。

2019年末、中国の武漢で始まった新型コロナウイルス感染症は第8波と感染拡大を繰り返し、年末年始も多くの感染者が出ています。オミクロン変異株では重症化する患者さんは減っているものの、7日間の自宅療養期間を終わっても症状がおさまらない場合があります。急性期の臓器障害が遷延して後遺障害となっている場合や集中治療後症候群あるいはPTSD(心的外傷後ストレス障害)と言われるような他の感染症や重症疾患でも見られるような病態・経過もあります。COVID-19に特徴的な労作後の倦怠感(疲れやすい)、集中力低下・記憶障害・抑うつなどが見られるブレイン・フogg(脳の霧)、嗅覚障害、脱毛など様々な症状が見られます。現在のオミクロン変異株では、2021年のデルタ

変異株よりはコロナ後遺症にかかる率は半減したと言われていますが、感染者数は一桁以上も多く、市内の後遺症外来を受診する患者さんは増えています。

WHO(世界保健機関)が2021年にまとめたコロナ後遺症の定義では、3か月以上経過しているという期間になっていきますが、実際には発症2週間目にも、4週間目にも様々な症状が出ている方が多くあります。英国の研究でも、早期に治療介入したケースの多くは3か月目には改善しているの、病態的にも社会的にも早期に必要な介入をすべきと考えます。

## Long COVIDの病態は

まだ解明されていないことも多いですが、ウイルスの一部が細胞内に残って炎症が続いているという説(細胞内のミトコンドリアの機能異常を起こす可能性も言われています)、過去に感染した別なウイルスの再活性化、免疫反応が遷延しているあるいは自己免疫が関与しているという説、脳の老廃物や炎症物質などが排泄されにくくなっているという説、血管の障害で小さい血栓が生じているという説などが有力で、これらに加えて、背景となる基礎疾患や心理社会的な要因も加わっていると考えられています。



## Long COVIDの治療

診断は急性期から後遺症までの詳しい経過の問診や、検査で他の病気が隠れていないかどうかを詳しく調べて、他の病気がない場合に診断されます。実際には貧血がコロナ後の倦怠感の原因になっていた方もいました。

治療は、WHOが作成したリーフレットや米国のガイドラインなどを翻訳したものなどを使って療養指導していきます。もっとも重要なのはエネルギーの節約で、倦怠感などの症状の悪化を起さないように身体的・精神的疲労をためず、個々の患者さんにあったペースを見つけて、そこから、追加していく運動、頭脳作業を含む日常生活に優先順位をつけて計画を立てること、低レベルから頻度を増やし、持続時間を増やし(休憩時間を減らし)、最後に強度を増やしていくことが重要です。特効薬はなく、漢方薬や痛み止めなどの対症療法と、外国の研究論文などをもとにサプリメントや血圧やコレステロールの薬を使用することもあります。また、鼻の奥の方に炎症が続いている患者さんでは、耳鼻咽喉科で上咽頭擦過療法(Bスポット療法)

## 職場復帰に関して

後遺症の症状が重たい時は仕事を長期に休む必要があります。英国やカナダの文献が参考になります。始業・就業・休憩のタイミングや、時短勤務などの勤務時間の制限、ペイス配分、勤務内容やシフトの検討などリハビリの延長と考えて職場と相談することが重要です。

## サイレント・ロング・コビッド

一方で高齢者施設等でのクラスターが過去最高を更新し、たとニュースが続いています。施設に入居している高齢者では、感染した患者さん自身も周囲のスタッフもコロナ後遺症と気づいていない場合が増えていると思われます。また、小さい子どものコロナ後遺症も家族だけでなく、保育施設、幼稚園、学校などで見落とされている可能性を危惧しています。

## 周囲の人ができること

周囲の心理的なサポートも欠かせません。検査で異常がないからと、職場や家族に症状を理解してもらえないことが多いです。患者さん自身も追いつめられて、症状を悪化させてしまいかねません。コロナ後遺症というものがあつたことを理解して、患者さんを支えながら見守ってほしいと思います。民医連の職場や共同組織のみならずにも、継続した取り組みをお願いしたいです。

資料：コロナ後遺症の主な症状  
疲労感・倦怠感/関節痛/筋肉痛/せき/たん/息切れ/胸痛/脱毛/記憶障害/集中力低下/頭痛/抑うつ/嗅覚障害/味覚障害/動悸/下痢/腹痛/睡眠障害/筋力低下

出典：厚生省「新型コロナウイルス感染症 診療の手引き」別冊「罹患後症状のマネジメント」

今後の課題としては高額な検査の費用補償や、コロナ後遺症を指定難病に入れるなど、国の制度を拡充する取り組みも必要だと思えます。

### 特別平和企画:早乙女愛さん「平和への語り」(仮称)

プロデューサー・映画編集者。1972年東京生まれ。同志社大学文学部卒業。

幼少の頃より父で作家の早乙女勝元の取材旅行に同行し、国内外の戦跡を訪ねて育つ。2001年、中米コスタリカを舞台にしたドキュメンタリー映画『軍隊をすてた国』(山本洋子監督)を初プロデュース。映画製作会社を設立後、PV、テレビ番組、映画、展示映像へ撮影技術を提供。2015年、東京大空襲証言映像マップの制作において第19回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品。有限会社記録同人代表。



### オープニング:福岡大学附属若葉高等学校ダンス部(過去世界大会優勝校)



主催:  
ふくおか健康友の会・ふくおか健康友の会かすや支部・福岡医療団・福岡保健企画合同文化祭実行委員会  
お問合せ:ふくおか健康友の会事務局  
(092-651-1522)

# 第15回 すこやか 春の文化祭

参加費 無料

日時: 2023年4月23日(日)  
受付: 10時開場~10時30分開演  
13時終了予定  
会場: サンレイクかすや  
[糟屋郡粕屋町駕与丁 1-6-1]

今年のテーマ

許さない、戦争への道  
今こそ平和の文化祭を!!

# 今、戦争か平和か ～ 私たちは歴史の「岐路」に立っている～



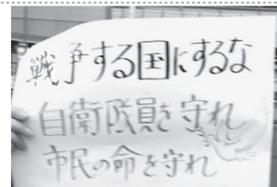
岸田内閣は、ロシアのウクライナ侵攻を契機として国民の不安をあおり、軍備増強を押し進め「安保関連3文書（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）」の改定を閣議決定しました。日本の重要な方針転換とそれに伴う財政課題を、国会の審議も経ずに一方的に閣議決定という形で進めています。軍事費増で、専守防衛をかな

ぐり捨て敵基地攻撃能力を保持した軍隊をつくらうとしています。しかも、政府は軍事費について2027年度までの5年間の総額を43兆円とし、現在の2倍にする計画です。憲法9条を持つ国として、いま行うべきは「戦争の準備」ではなく、対話と外交によって「戦争をさける努力」です。憲法9条を守り、大軍拡・大增税に反対しましょう！

## 健康友の会 ・病院で アピール!



### 東・東支部が千早駅前でスタンディング宣伝行動



私たちは子や孫達のために今、活動しています。自分たちで作ったポスターを持ち寄り千早駅前「戦争反対」や「軍事費削減」など声に出しています。戦後、貧しい時代を生きてきた私たちにとっては、困った時は助け合い、いのちを繋いできました。今の政府は軍拡のための増税を国民に押しつけ、年寄りや若者にされ、福祉が切り捨てられています。特に、私たちの住んでいる地域では身寄りが無い人が多く、困った時に手をさしのべられるようなシステムづくりが重要だと感じています。大軍拡・大增税ではなく医療と福祉にお金を使ってほしい。未来ある子ども達を絶対に戦争へは行かせません！

私たちは子や孫達のために今、活動しています。自分たちで作ったポスターを持ち寄り千早駅前「戦争反対」や「軍事費削減」など声に出しています。戦後、貧しい時代を生きてきた私たちにとっては、困った時は助け合い、いのちを繋いできました。今の政府は軍拡のための増税を国民に押しつけ、年寄りや若者にされ、福祉が切り捨てられています。特に、私たちの住んでいる地域では身寄りが無い人が多く、困った時に手をさしのべられるようなシステムづくりが重要だと感じています。大軍拡・大增税ではなく医療と福祉にお金を使ってほしい。未来ある子ども達を絶対に戦争へは行かせません！



## 新しい戦前になる?!



タモリ (タレント)

昨年、『徹子の部屋』のゲストとして登場したタモリさん。司会の黒柳徹子さんから「来年はどんな年になりますかね?」と尋ねられると、少し考え込んだ様子で、苦笑いも浮かべながら、こう答えた。「誰も予測できないですよ。これはね。でもなんて言うかな。新しい戦前になるんじゃないですかね。」

タモリさんは、終戦1週間後の8月22日生まれの77歳。終戦直後の日本を生きたタモリさんのこの一言に「重い言葉だ」などと反響が広がっています。

### 中央支部が福岡市科学館前で宣伝署名行動

中央支部では「9条を守る班」の取り組みとして、六本松にある福岡市科学館前で宣伝署名行動を実施しています。2017年から始まり7年目になりました。コロナ禍で署名をしてくれる方も減りましたが、足を止めて演説を聞いてくれる方や差し入れをくれる方など「憲法改悪を許さない!」と思っている市民がたくさんいることを実感しています。



### 福岡医療団が毎月、ゆめタウン博多前でスタンディング宣伝実施!



2021年1月22日「核兵器禁止条約」が発効されて2年。同条約は、核兵器の開発、使用、使用の威嚇、譲渡、支配地域内での設置や配備を含むすべての行為を禁止しています。唯一の戦争被爆国である日本政府は禁止条約発効から2年が経ちましたが、未だ署名も批准もしていません。また、岸田政権は昨年2月24日から続くウクライナとロシアの戦争や台湾を挟んで中国とアメリカの有事を想定し、社会保障を切り捨て軍事費を2倍にし「戦争する国」づくりを進めています。患者・職員・地域のみなさん一緒に戦争反対の声を上げて行きましょう!

2021年1月22日「核兵器禁止条約」が発効されて2年。同条約は、核兵器の開発、使用、使用の威嚇、譲渡、支配地域内での設置や配備を含むすべての行為を禁止しています。唯一の戦争被爆国である日本政府は禁止条約発効から2年が経ちましたが、未だ署名も批准もしていません。また、岸田政権は昨年2月24日から続くウクライナとロシアの戦争や台湾を挟んで中国とアメリカの有事を想定し、社会保障を切り捨て軍事費を2倍にし「戦争する国」づくりを進めています。患者・職員・地域のみなさん一緒に戦争反対の声を上げて行きましょう!

## 医学生も 一言いわせて

### 元気に楽しく生きたい!

松崎昇さん

佐賀大学医学部医学科4年 (福岡・佐賀医連奨学生)

今の政府に対して、高齢化もさらに加速する中で、コロナ対策など難しいことも多い現代だとは思いますが、日本の特徴を活かせる政府であってほしい(高齢化、平和について、皆保険制度など)。特に憲法9条を変えて、攻めて行くような国にするのは絶対にやめてほしい。しかし、全くの無力で国が守れるとは思っていない。ただ、「攻められたらどうする」ではなく、戦争にしないためには、歴史や遠い地での出来事から学ぶことが何より必要だと思う。それができないと、結局同じことの繰り返し。ロシアのウクライナ侵略については、このご時世に侵略という行為が理解出来ない。軍事的な衝突が実際あるという世の中にそもそもしないでほしい。私にとって「平和」とは、家族やパートナー・友達と、たまに笑い合いながら日々生活ができること。そのためには、自分の周りの人と「元気に楽しく生きる」こと。それができるように全力を尽くすことだと思います。



タイ王国(山岳民族)の子ども達と

## みんなで考え、話をして平和をつくらなきゃ



吉永小百合 (映画俳優)

終戦の年に生まれた吉永さん。平和について発信する原点になったのが、20代から出演した戦争に関わる映画でした。その後、俳優人生を通じ、戦争を描いた作品に何度も出演する中で出会ったのが、原爆の詩でした。「被爆者の団体の方たちから詩をいただいて、『これを読んでください』というつながりだった。やっぱり、これは伝えていかないといいけないことなんじゃないかって。俳優としてというよりは、1人の人間として。」「平和って、私も最初は願えば平和って来るものだと思っていた。やっぱり作らなきゃ、みんなで作らなきゃいけないことだし、こういうことがあったんですよという話をして、みんなで考えようというふうにしていきたい。」

「NHK クローズアップ現代より」

## PEACE MESSAGE

ベシャワール会現地代表 故 中村 哲 医師

「どんな山奥のアフガニスタン人でも、広島・長崎の原爆投下を知っている。その後の復興も。一「日本は一度の戦争もせずに戦後復興を成し遂げた」と思ってくれている。～中略～他国に攻め入らない国の国民であることがどれほど心強い。アフガニスタンにいて「事力があれば我が身を守れる」というのが迷信だと分かる。敵を作らず、平和な信頼関係を築くことが一番の安全保障だと肌身に感じる。単に日本人だから命拾ったことが何度もあった。憲法9条は日本に募らす人々が思っている以上に、リアルで大きな力で、僕たちを守ってくれているんです。」

「毎日新聞 2013年6月6日付」より

